

2025年に向けた対応方針に係る検討の進め方【案】

～各医療機関の対応方針の策定・検証・見直し～

東京都福祉保健局医療政策部

- ① 調整会議での検討事項
- ② 検討を再開する背景
- ③ 方向性（案）
- ④ 今後の予定
- ⑤ 確認・調査票（案）

①調整会議での検討事項

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性（案）
④今後の予定
⑤確認・調査票（案）

公立・公的・民間医療機関における「2025年に向けた対応方針」について
意見交換を行い、各圏域における2025年に向けた対応方針に係る合意を目指す。

各医療機関の 2025年に向けた 対応方針とは

- ・ 2025年を見据えた構想区域で担うべき医療機関としての役割
5疾病5事業及び在宅療養等に係る各種指定・承認など
- ・ 2025年に持つべき医療機能ごとの病床数
令和3年度病床機能報告での報告病床数など

検討事項

- ・ **公立・公的医療機関等**
 - ・ 東京都、区市町村、地方独立行政法人、地方公共団体の組合、日本赤十字社、（社福）恩賜財団済生会、国家公務員共済組合連合会、日本私立学校振興・共済事業団、国保組合、（独）地域医療機能推進機構、（独）国立病院機構、（独）労働者健康安全機構が設置する病院・診療所
 - ・ 特定機能病院及び地域医療支援病院

各医療機関の対応方針の検証・見直し

- ・ **公立・公的医療機関等以外の医療機関**
公立・公的医療機関等の対応方針を踏まえた各医療機関の対応方針の確認

合意

- ・ **地域医療構想調整会議において、対応方針に係る協議が調うこと。**

② 検討を再開する背景

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性（案）
④今後の予定
⑤確認・調査票（案）

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、都では令和2年度から、2025年に向けた対応方針に係る検討を休止してきたが、

検討期限は令和5年度

令和4年度・令和5年度で 検討するよう国が通知

- ・ 令和4年3月24日付厚生労働省医政局長通知
- ・ 第8次医療計画策定に向けた病床の機能分化・連携の議論等と併せて、対応方針の策定・検証・見直しを行うよう、都道府県に通知

2025年（令和7年）は目前

現行の地域医療構想は、 2025年に向けた取組

- ・ 団塊世代（1947年～1949年生）全員が2025年には後期高齢者
- ・ 2025年まで3年を切り、これまでの自主的な病床の機能分化に係る取組について、いったん総括する時期

令和5年度は計画策定の年

令和5年度は第8次 保健医療計画の策定に注力

- ・ 現行第7次計画の計画期間 平成30年度～令和5年度
- ・ 次期計画は、記載事項に、「新興感染症等の感染拡大時における医療*」を追加
* 5疾病5事業 ⇒ 5疾病6事業

地域医療構想会議での検討を再開し、令和4年度中に、
圏域における対応方針についての合意にメドをつけることが望ましい。

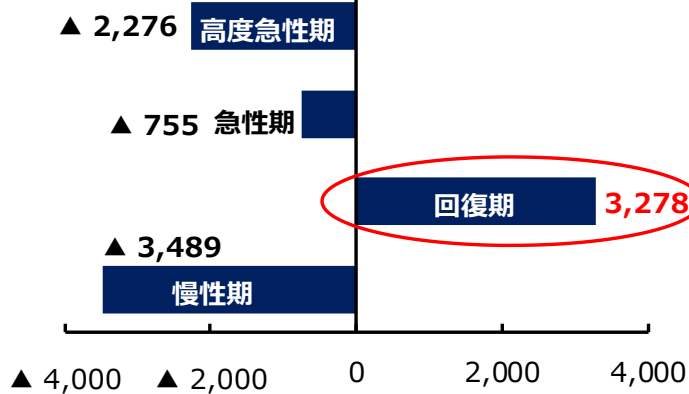
③方向性（案）

病床の機能分化 進捗状況

機能分化は目指す方向に進捗

- 調整会議での取組を本格化した平成29年度以降、都内の回復期機能の病床は、着実に増加

機能別病床数の増減
（平成29年度⇒令和3年度）



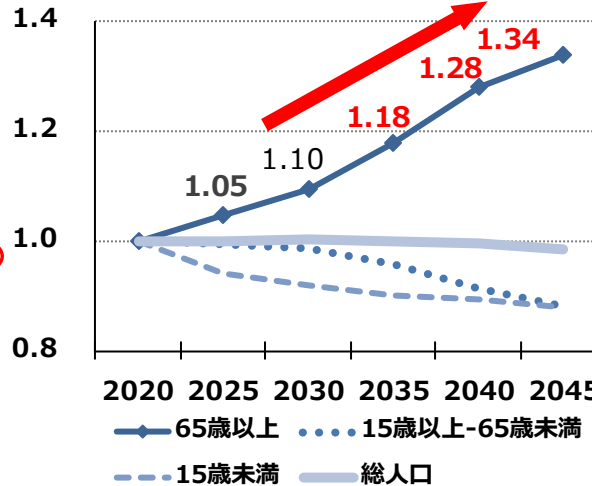
出所：令和3年度病床機能報告（速報値）より作成

2025年以降の 都の人口構造の変化

高齢人口の増加は、更に加速

- 2040年以降に向け、高齢人口の増加は加速し、医療需要は増大
- 2040年以降に向けた検討が重要

東京都の人口推計



出所：国立社会保障・人口問題研究所推計より作成

新型コロナ感染症の 病床機能への影響

コロナ対応のための 病床運用変更は継続中

- コロナ運用の終期は不透明
- そのため、2025年に向けた大幅な機能変更は難しい状況

コロナ対応のための病床運用の状況

（令和3年7月1日時点）

病床数	
コロナ患者対応を行っている	5,083床
コロナ患者対応のため休棟・休床	2,738床

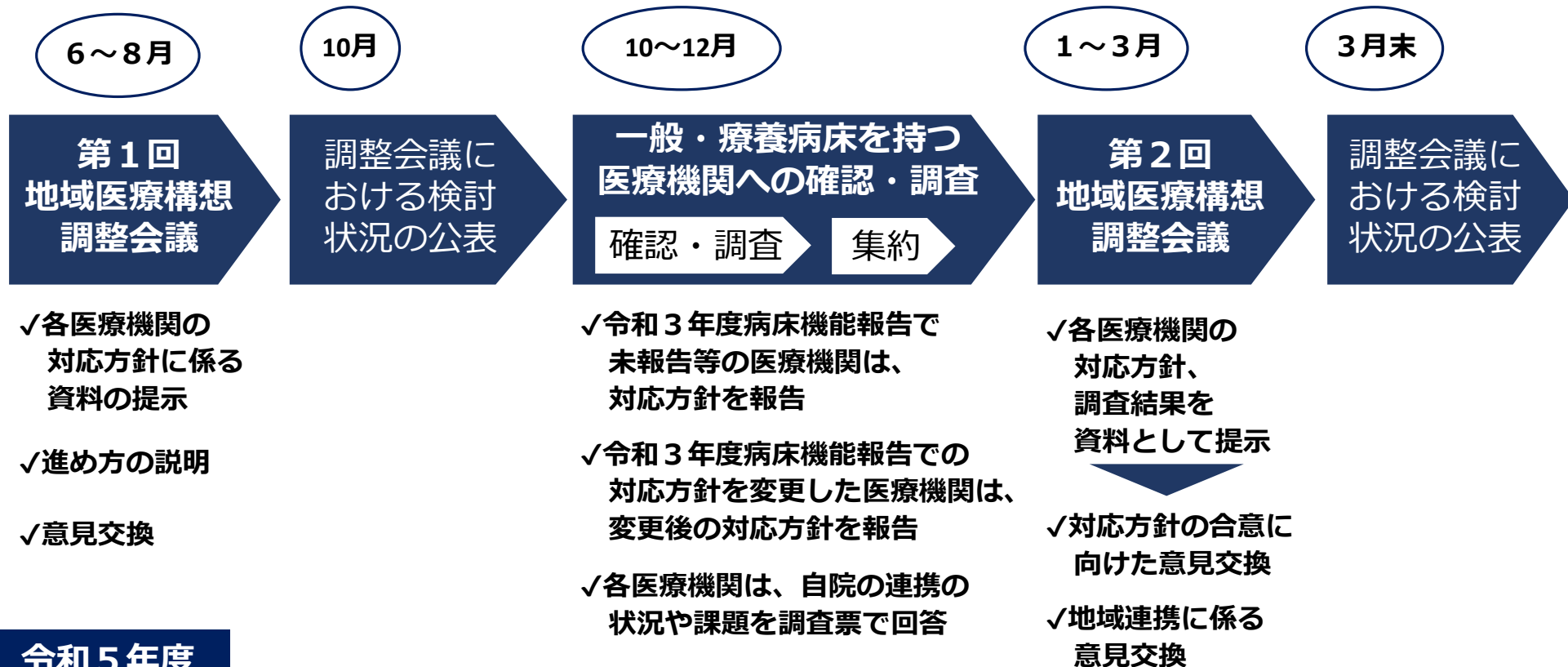
出所：令和3年度病床機能報告（速報値）より作成

2025年に向けては、各医療機関の対応方針を尊重し、圏域として合意する。
 質が高く効率的で持続可能な医療提供に向けた機能分化・連携の議論は継続する。

④ 今後の予定

- ①調整会議での検討事項
- ②検討を再開する背景
- ③方向性（案）
- ④今後の予定
- ⑤確認・調査票（案）

令和4年度



令和5年度

地域医療構想調整会議

- ✓2025年に向けた対応方針に変更があった医療機関の変更内容を確認
- ✓変更内容が圏域における2025年の医療提供体制に大きな影響を与える場合 ▶ 合意に向けた意見交換を改めて実施

⑤ 確認・調査票（案）

- ① 調整会議での検討事項
- ② 検討を再開する背景
- ③ 方向性（案）
- ④ 今後の予定
- ⑤ 確認・調査票（案）

・ 各医療機関の役割・2025年における機能別病床数（対応方針）を記載した「2025年に向けた対応方針確認票」を、都が各医療機関に送付

・ 各医療機関は、自院に係る記載内容を確認し、必要に応じて、追記・修正

「2025年に向けた対応方針」確認票のイメージ

◆各医療機関の2025年に向けた対応方針（役割・機能別病床数）

構想区域	所在地	公立・公的	医療機関名称	D P C	特定機能	地域医療支援	三次救急医療	C C U	総合入院体制	在宅療養支援診療所	在宅療養支援病床	機能別の病床数等										備考
												高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	廃止予定	介護施設等に移行	計	コロナ患者対応	コロナ対応のため休床	
区中央部	●●区		医療法人社団▲▲病院									20	400	50		30		500	30	30		休棟30床は、コロナ収束後に再稼働の予定
区中央部	●●区	公的	■■■■■病院									20	400	80			100	500				R5年4月、介護療養病床100床を介護医療院に転換の予定
区中央部	○区		公益財団法人◆◆◆病院										120	30			150					R4年度中に、地ケア病床を増床の予定
												100	50				150					

医療機関としての役割（例示）

病床機能報告での報告内容に係る補足を記載

・ **下段**は、令和3年度病床機能報告での2025年7月1日予定の機能別病床数
 ☞ 修正・変更があれば、**赤字**で記載

・ 2025年に向けた補足事項
 ☞ 必要に応じ、**赤字**で追記

⑤確認・調査票（案）

- ①調整会議での検討事項
- ②検討を再開する背景
- ③方向性（案）
- ④今後の予定
- ⑤確認・調査票（案）

・「2025年に向けた対応方針確認票」と併せて、「地域連携に係る調査票」を都が各医療機関に送付

・各医療機関は、自院の連携の状況や課題に係る設問に回答し、都に調査票を提出

地域連携に係る調査票のイメージ

- 1 各診療科・疾病ごとの地域での連携状況
- 2 地域医療構想の取組開始（H29～）以降の地域連携の変化
- 3 2025年以降、自院が地域で果たす役割

地域医療構想の達成に向けた地域での連携状況について

構想区域

所在地

医療機関名

2025年に向けた地域医療構想の取組の状況把握のため、下記調査に御協力ください。

1. 貴院の各診療科等における、地域での連携の状況をご回答ください。

診療科 ・ 疾病 等	当該診療科等が担っている機能 (高度急性期、急性期、回復期、慢性期)	地域での連携の状況
(記入例) 脳卒中	急性期、回復期	下りの連携は上手くいっているが、血管内治療や緊急開頭手術が必要な際の転院先調整は難航することが多い。

2. 平成29年に地域医療構想に関する取組を開始して以来、地域連携に関して何か変化はありましたか。

3. 地域医療構想が見据える2025年以降、貴院は将来に向けて地域でどのような役割を果たしていくか、御記入ください。

例) 地域医療のハブ病院、ポストアキュートを担う地域密着型病院 など